

健康教育論	3年・後期	2単位	准教授 島田 昇
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310902

1. 授業のねらい・概要

健康教育の目的・方法について学習する。健康教育の演習をとおして、健康課題への気づきと学生自らの「学習する」主体の形成を図る。

2. 学修の到達目標

1. 健康課題の歴史の変遷と近年における健康課題を理解できる
2. 演習をとおして、健康教育の企画と展開方法について理解を深めることができる
3. 健康教育プログラムを作成しプレゼンテーションすることができる。

3. 授業の進め方

講義およびグループワークとする。演習として、健康教育の実際をイメージし、課題の設定、学習資料の作成、教室の運営等を行う。

4. 授業計画

1. 健康教育理論の変遷	9. 演習 健康教育（テーマ）の設定
2. 健康づくりの歴史とヘルスプロモーション	10. 演習 企画書作成
3. 今日の健康課題	11. 演習 基礎学習を深める
4. 健康教育の技術	12. 演習 学習教材の作成
5. 「学習」と「教育」の構造	13. 演習 健康教育プレゼンテーション
6. 健康教育の展開過程	14. 健康教育の評価
7. 教育媒体	15. 健康教育から地区組織活動へ
8. 健康教育の準備・企画	

5. 成績評価の方法・基準

試験 70%，課題レポート 20%，平常点 10% を基準に総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：標準保健師講座〈2〉 公衆衛生看護技術，医学書院。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

グループ演習をスムーズに行うため、各自事前学習をしておくこと。

8. 受講上の留意事項

講義と演習とですすめる。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。